

144 マルヤドリガイ

(ウロコガイ科)

兵庫県ランク:A

Montacutona japonica

環境省ランク:指定なし

種の概要

紀伊半島から九州の潮間帯や潮下帯の沿岸に分布し、内湾よりの細砂泥底に生息する。殻長2.5mmほどの亜三角形をし、殻頂はやや前方に位置する。半透明で灰白色を呈し、細かな成長脈があるが、ほぼ滑らかである。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○			○

県内分布

洲本市、淡路市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。淡路島で確認されており、前浜干潟や内湾の細砂・砂泥底に生息する。微小なために生貝は見つけにくいですが、生息量は少なくないと考えられる。播磨西部の同様な環境下には、形態的に似ているウメノハナガイモドキが生息する。

保護上の留意点

内湾環境下にある細砂あるいは砂泥干潟の指標的な存在とみなされる。生息環境の少なさや悪化状況から、強度の護岸や浚渫あるいは埋め立て、離岸堤の設置による干潟の消失、水質の汚染に配慮する必要がある。



【執筆者】 増田修